

登録コード:MH427300 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	義肢装具学【20M以降】 Upper Limb orthoses and neuroprostheses			
担当教員	佐賀里 昭 青木 薫			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	作業療法学専攻 / 3 年 前期 火曜・2 時限			
単位数、講義室	1 単位	保健学科 1 2 1 講義室 保健学科 2 1 1 講義室 保健学科 1 1 1 講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH20カリ・保健			
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。		解剖学，運動学の知識を基盤に，義肢装具全般を理解し，スプリントを製作することができる．具体的な行動目標は下記の3点である． 治療技術との関連性について説明できる． 道具の使用方法，材質特性，材料選択など，製作に関わる技術を理解して装着や適判定ができる． 熱可塑性素材を活用した製作原理・技法を習得し，適切なスプリントを製作できる．	
	MH25カリ・保健・作業，MH23カリ・保健・作業			
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し，さまざまな状況で活用できる。		作業療法士に必要な義肢装具に関する基礎的・専門的な知識・技能を修得し，さまざまな状況で活用できる．	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して，地域・国際的な視点から，科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と，課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		多様な対象者に対して，科学的かつ創造的に義肢装具を活用することで課題に対応していく探究心と，課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている．	
授業で学べる「テーマ」	健康長寿			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	上肢の解剖・運動学的な基礎理論を確認しながら，作業療法に関わる義肢・装具療法について学ぶ．義肢・装具の活用目的や導入の基本原則を理解し，手の装具の製作実習を通して製作技術を修得する． 本授業は，1年次に学んだ「系統解剖学」，「運動学」の知識が前提となります．本授業の内容は，4年次の臨床実習における重要な知識となります． 本授業は，担当教員の医療現場における作業療法士としての実務経験を活かして講義を行います．なお，本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます．			
授業計画	第 1 回 (4月14日) : 切断術概論・切断術後の断端管理 (青木) / 義肢学と合同講義 第 2 回 (4月21日) : 下肢血行障害と切断 (青木)) / 義肢学と合同講義 第 3 回 (4月28日) : 腫瘍と切断 (青木) / 義肢学と合同講義 第 4 ・ 5 回 (5月19日) : 義手概論 ・ (佐賀里) / 義肢学と合同講義 (1 ・ 2 時間目の時間帯に実施します) 第 6 回 (5月26日) : 中間試験 (青木 ・ 佐賀里) 第 7 回 (6月 2日) : 義手と作業療法 (佐賀里) 第 8 回 (6月 9日) : 義手と作業療法 (佐賀里) 第 9 回 (6月16日) : 上肢装具 (佐賀里) 第10回 (6月23日) : 下肢装具・体幹装具 (佐賀里) 第11回 (6月30日) : スプリント製作概論 (佐賀里) 第12回 (7月 7日) : スプリント製作 (佐賀里) 第13回 (7月14日) : スプリント製作 (佐賀里) 実習課題 (スプリント製作 ・ のレポートを8月5日までに提出) 第14回 (7月21日) : スプリント製作 (佐賀里) 第15回 (7月28日) : スプリント製作 (佐賀里) ，授業アンケート 実習課題 (スプリント製作 ・ のレポートを8月5日までに提出) 第16回 (8月 4日) : 期末試験 (青木 ・ 佐賀里)			
授業の進め方	授業は，配布資料に基づいて進めていきますが，能動学習による理解の深化を目指すために，質疑応答にも重きを置いて展開します．また実習課題では，スプリント製作を行い，リハビリテーションに関連する既習の内容を含めて知識を体系的に整理し，報告していただきます．			
テキスト，教材，参考書	テキスト，教材 *義肢装具のチェックポイント 第9版 (医学書院) 参考書 *切断と義肢 第2版 (医歯薬出版) *義肢装具と作業療法 評価から実践まで (医歯薬出版)			
成績評価の方法	中間試験と期末試験と実習課題の成果に基づいて，総括的に成績を評価します．総括評価の配分は，中間試験30％，期末試験50％，実習課題20％とし，総計の60％以上を合格とします．実習課題は，7月7日，7月14日，7月21日，7月28日の実習で評価を行います． 「治療技術との関連性について説明ができるか」，「道具の使用方法，材質特性，材料選			

成績評価の方法	択等，製作に関わる技術を理解して装着や適合判定ができるか」，「熱可塑性素材を活用した製作原理・技法を習得し，適切なスプリントを製作ができるか」については，中間試験と期末試験と実習課題で確認します．
成績評価の基準	中間試験と期末試験と実習課題の成果による総合的な成績評価の判定基準は，下記の通りとします． 90 - 100点：秀 80 - 89点：優 70 - 79点：良 60 - 69点：可 なお，これらの採点の基準は，達成目標に関連した設問に対する選択式解答の正誤だけでなく，記述式解答における用語の適切さ，説明内容の範囲の広さや詳細さ，説明内容の論理的な妥当性などを指標とし，授業で説明した範囲における，最低限の解答内容であれば，「水準にある」，やや詳細な解答内容であれば「やや上にある」，十分に詳細な解答内容であれば「かなり上にある」，授業で説明した範囲以上に自身で能動的に学習した詳細な解答内容であれば「卓越している」と判定します．
事前事後学習の内容	【事前学習について】 授業終了時に，次回に向けて学習すべき範囲を説明します．また，事前に運動学や解剖学のテキストを用いて学習しておいてください． 【事後学習について】 毎回，授業のはじめに，前回の授業の要点について質問を行いますので，授業で配布した資料や授業で実施した教科書の範囲を十分に復習してください． 本授業の単位取得には45時間の学習が必要であるため，以下のような学習時間を必要とします． $\text{授業時間30時間（2時間} \times 15\text{回）} + \text{自己学習時間15時間（1時間} \times 15\text{回）} = 45\text{時間}$ 以上の自己学習時間を考慮して，事前・事後学習に意欲的に取り組んでください．
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	本科目は既習または並行して学習する臨床医学系科目などの知識を基盤としています．他科目と関連付けながら学習を進めてください． 理学療法専攻との合同講義の日程があるので講義日程を事前に確認してください． 講義日程によって講義室の変更があるので事前に確認してください． 質問への対応：佐賀里 昭 sagaria@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：随時（要事前連絡） 保健学科南校舎2階 佐賀里研究室